

出資者側

藤倉隆、金子其太郎

工場主側

大橋新太郎、澤田喜六

労務側

岡田助准、南雲新外三名

會員より從業員側より工場再経営方針就て交渉ヲ開始セルカ事

業主側ハ結局再経営不可能ナリト拒絶シ次イテ解散問題ニ及

ビソルカ事業主側ハ萬難ヲ排シテ二週間分ヲ支拂フモ其レ以

上ハ絶対ニ支拂フ餘額ナシト述ヘタル為結局決裂シ終リテ退

散セリ

右及申(通)報候也

労務第一三五二號

昭和七年五月四日 警視總監 大野 謙一郎

労働局長 鈴木喜三郎 敬

事務主任 局長 官 殿

合資会社共隆製銅所、労働争議ニ関スル件 (第三報)

要旨

〔労働側側、到着半期に罷職シ居ルモ持不後、行動ナシ  
四月二十五日及二十六日、二面ニ在リ當處調停課、斡旋ニヨリ出資者會見アリ之カ決裂ニ及リ〕

標記労働争議、其、後、經過左記、通リ

一、交渉状況

四月二十五日午後二時ヨリ當處調停課、斡旋ニヨリ同課ニ於